

14日 金曜

ペテロⅡ

2:12 この者たちは、本能に支配されていて、捕らえられ殺されるために生まれてきた、理性のない動物のようです。自分が知りもしないことを悪く言い、動物が減びるように滅ぼされることとなります。

2:13 彼らは不義の報酬として損害を受けます。彼らは昼間から飲み騒ぐことを楽しみとしています。彼らはしみや傷であり、あなたがたと一緒に宴席に連なるとき、自分たちのだましごとにつけるのです。

2:14 その目は姦淫に満ち、罪に飽くことがなく、心が定まらない人たちを誘惑し、心は貪欲で鍛えられています。彼らはのろいの子です。

2:15 彼らは正しい道を捨てて、さまよっています。ベオルの子バラムの道に従ったのです。バラムは不義の報酬を愛しましたが、

2:16 自分の不法な行いをとがめられました。口のきけないろばが人間の声で話して、この預言者の正気を失ったふるまいをやめさせたのです。

2:17 この者たちは水がない泉、突風で吹き払われる霧です。彼らには深い闇が用意されています。

2:18 彼らは、むなしいことを大げさに語り、迷いの中に生きている人々の間から現に逃げ出しつつある人たちを、肉欲と好色によって誘惑しています。

2:19 その人たちに自由を約束しながら、自分自身は滅びの奴隷となっています。人は自分を打ち負かした人の奴隷となるのです。

2:20 主であり、救い主であるイエス・キリストを知ることによって世の汚れから逃れたの



に、再びそれに巻き込まれて打ち負かされるなら、そのような人たちの終わりの状態は、初めの状態よりももっと悪くなります。

2:21 義の道を知っていながら、自分たちに伝えられた聖なる戒めから再び離れるよりは、義の道を知らなかったほうがよかったです。

2:22 「犬は自分が吐いた物に戻る」、「豚は身を洗って、また泥の中を転がる」という、ことわざどおりのことが、彼らに起こっているのです。

異端などサタンの手下となった人々について語られています。私たちには必要ないと思うかもしれませんが、そのような出来事はめったにないからです。しかしもしもそのようなサタンの惑わしがあるなら、大きな痛手を被ることになりますから、日頃から知っておくこと、そしてその芽を摘むことが大切です。

サタンの惑わしに会わないように、その芽となる要素を取り除きましょう。そのためには主のみことばに忠実に生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

